

第8回 介護・医療連携推進会議議事録

1. 日時 平成30年9月26日(水) 10時00分から11時00分
2. 場所 J A兵庫南ふぁ～みんの里高砂
3. 出席者 13名
 - ・行政(高砂市高年介護課)
 - ・提携医療機関(ぬくもり訪問看護ステーション)
 - ・担当ケアマネジャー(めぐみ苑居宅介護支援センター)
 - ・担当ケアマネジャー(J A兵庫南ケアセンター高砂居宅介護支援事業所)

 - ・J A兵庫南福祉部長、課長
 - ・J A兵庫南ふぁ～みんの里高砂施設長
 - ・J A兵庫南ふぁ～みんの里高砂副施設長
 - ・J A兵庫南ケアセンター高砂管理者
 - ・J A兵庫南ケアセンター高砂計画作成担当者
 - ・J A兵庫南ふぁ～みんの里高砂生活相談員
4. 協議事項
 - (1) 開会挨拶
 - (2) 出席者紹介
 - (3) 平成30年4月からの運営状況報告、事例紹介
 - (4) 意見交換及び質疑応答
5. 協議内容
 - (1) 開会挨拶
施設長が開会を宣言し、司会進行を行う。
 - (2) 出席者紹介
平成30年度より当事業所の人事配置が変更になったことを説明した。
 - (3) 平成30年4月からの運営状況報告、事例紹介
施設長より、ふぁ～みんの里高砂の入居状況について報告を行った。
ケアセンター高砂計画作成担当者より、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の利用状況について報告を行った。
同じく計画作成担当者より、4月の新規利用者の事例紹介を行った。

(4) 意見交換及び質疑応答

【質疑1】(事例への質問)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の外部訪問における随時対応部分の頻度はどれくらいでしたか？

(回答・意見)

→定期訪問のみの対応で、随時対応はありませんでした。本人の持っている携帯電話に事業所の電話番号を登録していたが連絡はなかった。遠方にいる家族が毎朝・夕と電話で安否確認をされていた。また、電話で変わった様子が見受けられた場合は家族がケアマネジャーに連絡を行い、事業所にはケアマネジャーから連絡が入るようになっていた。

【質疑2】(事例への質問)

訪問看護(医療保険)との連携方法を教えてください。

(回答・意見)

→訪問時の体調や様子、排尿便量をノートで記録し訪問看護事業所と連携していた。また、訪問看護事業所からは変わった様子等あれば電話で連絡があり連携を強化していた。

【意見1】(事例への意見)

外部(地域)へ定期巡回・随時対応型訪問介護訪問を実施し、本人に寄り添い看取りまでされたことはとても素晴らしいことだと思う。

事例の報告だけでなく、目標に対しての経過、考察、評価まで行うと良いと思った。

(回答・意見)

目標①「きちんと食事を摂ることができる」

→昼食は毎日宅配弁当を取り、残ったものは本人が冷蔵庫に保存する。夕方の定期訪問時に昼食の残ったものをお皿に移し替え温める。また、本人の希望に併せて卵焼き等の一品料理を加えて食事を摂っていただくようにした。

食欲がない時には、本人の希望でプリンやヨーグルトなどを買いに行き提供した。本人の体調に合わせてきちんと食事を摂ることができた。

目標②「買い物や掃除など必要な介助を受けることができる」

→本人の希望を聞き取りその日の食べたい物等を買出しに行くようにした。洗濯は朝の定期訪問で行い、夕方の定期訪問時に洗濯物を取り込むようにした。

目標③「確実に薬が飲むことができる」

→本人が薬カレンダーにて管理されていたが、違う日の薬を飲むなど管理するのが難しい状態になった。定期訪問に入り、ヘルパーが手渡しで確実に服薬できるようにした。痛みが強い時に服薬する薬は、ベッド上から手が届くようお皿にセットしヘルパーがいなくても服薬できるように工夫した。訪問に入ったことで確実に服薬することができた。

【質疑3】

毎夜間帯の定期訪問を家族は希望されているが、定期訪問をしてもらうことはできないか？（10月から利用開始。利用者は家族と同居され、1日3回定期訪問を実施し排泄介助を予定。）

（回答・意見）

夜間帯の定期訪問を想定した勤務体系になっておらず、夜間帯は人員が少なくなり、毎夜間帯の定期訪問は難しいのが現状。定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者連絡協議会で発表された事例でも18:00～19:00が最終の定期訪問になっていた。定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所は、兵庫県下に49事業所あるが夜間帯の訪問はできていないのが現状で、今後の課題でもある。

（他事業所ケアマネジャーの意見）

家族と同居されている場合は、家族の支援も必要。夜間帯に定期訪問しなくてもよいと思う。また、家族に介護指導をするのもケアマネジャーの役割だと思う。

【質疑4】

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の随時訪問はオンコール対応にできないのか？

（回答・意見）

オンコール対応は今後検討します。

【意見2】

・独居の方も多いので夜間帯不安もある。柔軟な対応をしていただくと定期巡回・随時対応型訪問介護看護も利用しやすくなる

6. 閉会

次回の開催は、平成31年3月の予定である事を連絡し、活発な議論・質疑に謝辞を述べ閉会とする。

議事録作成者

高砂市阿弥陀町北池102

J A兵庫南ふぁ～みんの里高砂
潮崎